

特集3 京都市福祉ボランティアセンター ホームページリニューアル

4月2日より、新しいホームページでみなさんのボランティア活動をサポートしていきます。ボランティア団体の皆さんが発信したい情報を載せることもできます。ボラセンのホームページを活用して活動の幅を広げてみませんか。

月刊誌「ボランティアズ」の表紙を飾っていただいた団体が登場！

福祉ボランティアセンターからのお知らせ
新しい情報はこちらでお知らせします。

ボランティアしたい方はこちら
ボランティア募集や、講座・イベント情報はこちらです。各区のボランティアセンターもここからどうぞ。

ボランティア募集・活動中の方はこちら
ボランティア団体は本センターに登録することで情報発信が可能です。その他、助成金情報など活動をサポートする情報をまとめています。

安心して、納得して、ボランティアを始めましょう！
ボランティア保険のご案内、メールでのご相談などはこちらから。ボランティアに関わる知識や情報もぎっしり詰まっています。



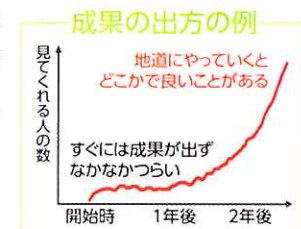
特集4 広報お役立ち情報 SNSの活用

本センターではボランティア活動サポート講座として「SNS活用セミナー」を平成30年2月28日に実施しました。その内容を一部抜粋してご紹介します。
(講師：NPO法人やさしいデザイン 宮嶋健人氏 <http://www.yasashiidesign.jp/>)

SNSを始めれば、多くの人が見てくれる？

インターネットやSNSで情報発信すれば「すごくたくさんの人が見てくれるに違いない」と思い込んでいませんか？

開始時から効果が出るとは限りません。地道に継続することで、何かをきっかけに効果が表れるでしょう。(右記図参照)



見た人に、何をしてほしいのか明確に

情報発信に欠かせないことは、どういう人に情報を届けたいのかという「ターゲット設定」が必須です。例えば…

- 属性**
 - 年齢・性別・地域
 - そもそもパソコンやスマホを持っているか
 - そもそもSNSを使っているか
 - どのSNSを使っているか
- 思考**
 - 普段どんなことを思っている人か
 - どんな情報を探しているか

など、届けたい人をイメージしつつ(ターゲット設定)、その人が情報を見たら何をしてほしいのかという「目的設定」も必須です。例えば…

- イベントに来てほしい
- 協賛・寄付してほしい
- コメントしてほしい
- 募集に応募してほしい
- 拡散・共有してほしい

など、目的を明確にして常に意識することが大切です。

効果の出るSNS広報とは

- 効果=影響力×発信内容×回数 であることをする
- まずは身近な人とつながる(巻き込む)こと
- 誰に届けようとして、見た人に何をしてほしいかを明言すること
- すぐに効果が出なくてもあきらめず地道に発信することが大切です

2月の講座は多くの方にご参加いただき好評に終了しました。今年度も、平成30年度ボランティア活動サポート講座を開催いたします。みなさんの関心の高さがうかがえた「SNS」をテーマに実施予定です。詳細が決まり次第ご案内いたします。どうぞお楽しみに！

SNS広報の効果

「影響力」

立ち上げ時に、いかに多くの人とつながるか

- ▶ 現実世界のつながりのできるだけインターネットでも実現
- ▶ 対面で、口頭で、チラシで、ポスターであらゆる方法で「SNSでつながって！」と呼びかけなければならない



「発信内容」

- 1 ターゲット設定
「誰に向けて発信するのか」
- 2 目的設定
「何をしてほしいと思って発信するのか」

上記2点を明確に！
なんとなくやるとほぼ失敗します



「発信回数」

- ▶ 多ければ多いほど良いわけでもない
 - SNSによって文化の違いがある
 - TwitterやInstagramは1日に数件~数十件もOK
 - Facebookは多くても1日1~3件
 - LINEは多くても週に1度程度
- ▶ 定期的であるほど良い

※影響力が低いと、良い内容をたくさん発信しても効果が出にくい
※影響力が高くて、発信内容が悪ければ効果が出にくい(ただし上記は予算がない場合)